

人間らしく生き、 人間らしく死ぬための心得

東京有明医療大学教授
川嶋 しま あきら

- *間違いだらけのかぜ対策
- *かぜ対策にはうがいが一番効果的
- *患者の立場に無理解な医者へ丸投げしない
- *体が本来持つ機能を薬で抑えてはいけない
- *代替医療にも医学や薬学の知識が不可欠
- *代替医療を認めない日本の医学界に異議あり
- *何より重要なのは「治療」より「予防」
- *栄養指導をできない医者が多い
- *「温活」で免疫がアップする
- *元気な時にQODを高める準備を



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はいつもの政治、経済とは少し趣が変わりまして、医療と人間の生き方というようなことで川嶋先生にお話をさせていただくことになりました。川嶋先生はアメリカで統合治療の研究をされ、日本では東洋医学に精通されているほか、新しい医学のあり方という面でいろいろ活躍をされておられます。ご著書もかなりございます。しかし、こういった考え方は日本の保守的な医療関係の世界ではなかなか受け入れがたい面もあるのではないかと私なりに付度をいたします。しかし、いずれにしても医療は患者のためのものでありますし、われわれ患者も人間らしく生きて死ぬために自分自身でどういう選択をするかは、医者任せではなく自分自身で考

えなければいけないと思います。そういう意味で、今日のお話は皆さんがこれから生きていくための大きな示唆を与えてくれるのではないかと思っております。それでは先生、よろしくお願いたします。（拍手）

川嶋 ご紹介いただきました川嶋でございます。本日はお招きいただきましてありがとうございます。通常の私の講演というのは1時間半ほどお時間をいただきますが、今日は1時間少しということ、ギアをガクンと入れます。私は元来、早口ですが、さらに早口になりますのでメモは難しいかもしれませんが。あらかじめお断りを申し上げておきます。（笑）

QODという言葉は、私の造語です。クオオリティ・オブ・ライフではなく、クオリティ・オブ・